

委員会	更級小学校区	議会答弁
議会全体及び 総務文教常任委員会	貧困について市はどう取り組んでいるか。	○福祉施策として、国では生活保護などのセーフティーネットなどの施策を講じてきています。行き届いていない現実があるとすれば、実態把握し、具体的行動にできるようにすべきであると考えます。いただいたご意見は行政へ伝えます。
	長野県は発達障がい児が全国で1・2番で多い。長野県教育委員会によれば、平成15年～27年自閉症の小中学生12.6倍、中学生は35倍になっている。この原因は分析しているか。	<p><a href="#">その後の調査で</a></p> <p>○この発言内容に関する数字の根拠について長野県教育委員会HPより【「第2次長野県特別支援教育推進計画」資料編4特別支援学級在籍児童生徒の推移から、特に『自閉症・情緒障害特別支援学級』に在籍する児童生徒が年々増え続けており、小学校は全国2位、中学校は全国1位(H28)】</p> <p>○長野県教育委員会HPより 特別支援学級を卒業した中学生は、高等学校へ進学する生徒が多い(全国2位) 知的障害特別支援学級中学生96.3%高校進学 自閉症・情緒障害特別支援学級中学生94.4%高校進学</p>
福祉環境常任委員会	「千曲市しなのの里ゴールドプラン21老人福祉計画・介護保険事業計画」について医療保険や介護保険を使った機能改善のための訪問マッサージ等があることを多くの方に知っていただきたい。	<p>○訪問マッサージなどの広報や医療機関との連携について、行政に伝えます。</p> <p>○委員会としてゴールドプラン21について審査していきます。</p>
建設経済常任委員会	1990年から使用され始めたネオニコチノイド系農薬の使用について日本と韓国の2カ国が使い続けている。農薬使用量に合わせて、発達障がいの子どもの数も増えている。千曲市は環境課題を解決する宣言に賛同している。環境保全農業をもっと支援し、農薬を使わない有機食材を学校給食に取り入れていただきたい。	○議会では令和元年にネオニコチノイド系農薬の規制を求める請願を受理し、委員会で詳細に審査した結果、議会で可決されました。千曲市議会として意見書を国へ提出しています。
	屋代の大規模開発について、今後の開発計画のスタンスは。	○コロナ禍に加え、社会環境の変化でネット通販が増え企業側も立ち止まる中、大型商業施設中心の開発から、コロナ禍における大きな情勢変化に対応した新たなまちづくりを目指します。幅広い産業や文化が集積したまちづくりのため、市民、行政、地権者の役割を明確化し、着実な進捗を図ります。また、市道一重山2号線を基点として、先線である都市計画道路一重山線の整備に本腰を入れ、市域全体における産業連携道路ネットワークの構築を同時進行で進めていきます。
	防災について堤防のかさ上げや河床掘削はやっているが、肝心の工事は進んでいない。今後は。	○市内の必要な堤防補強や嵩上げの工事は現在行なわれています。河床掘削は、令和6年から令和9年を目指して下流から進められており、河道を流れる流量は改善が図られています。市内の河床掘削についても、行政はできるだけ早く進めてほしいと要望している状況です。